

ビジネス情報

ハンフォード

議会の調査機関である政府会計局は、8月13日に、ハンフォードのリバー・コリドー契約を獲得できなかったベクテル・ハンフォード社の申し立てを認める裁定を下した。米エネルギー省(DOE)のハンフォード・サイトにある広さ210平方マイル(544平方キロメートル)のコロンビア川回廊地帯のリスク低減と閉鎖を加速するための請負契約は、今年4月に、ワシントン・グループ・インターナショナル社、フルーア・フェデラル・サービズ社、およびアース・テック社の共同事業体であるワシントン・クロージャー社が獲得した。今回の裁定により、DOEは、請負業者選定の審査基準を見直して、入札を再評価しなければならない。一方、ベクテル・ハンフォード社は、河岸浄化作業とハンフォードの古い生産炉の密封管理を継続する。

ワシントン・クロージャー社は、この裁定に予想通り異議を申し立てた。同社は8月25日に、政府会計局に申立書を提出し、8月13日の裁定に関する最長100日間の見直し作業が始まった。

国際ニュース

エネルギーベルケ・ノルト社(EWN社)は、ロシアとドイツの協定の一環として、潜水艦デコミッションング作業に関する約1億2,000万ユーロ(1億3,500万ドル)の契約を獲得するかもしれない。旧東ドイツのVVER群を所有する連邦企業としてドイツ統一後に創設された同社は、旧ソ連北方原子炉群のための中間貯蔵施設の建設について責任

を持つ。ムルマンスク地域に建設されるこの施設は、廃止されたすべての潜水艦(約113隻)の原子炉を受け入れられる容量を持ち、それら原子炉を最長70年間保管することになる。ロシアとドイツの協定では、中間貯蔵施設の建設を2008年までに完了することが要求される。EWN社は現在、グライフスバルト発電所のVVERとラインスベルク発電所の原型PWRの廃炉と解体について責任を持っている。また同社は、ユーリッヒ研究所にあるペブルベッド型原型炉(AVR)の廃炉を任せられている。

オークリッジ

米エネルギー省(DOE)は、テネシー州オークリッジの諸サイトにおける加速された環境浄化作業のために、ベクテル・ジェイコブズ社との間で、新たな契約を結んだと発表した。5年分のコストと奨励報酬を含むこの18億ドルの契約は、10月1日に発効した。加速された浄化方策の下で、オークリッジ・サイトの全計画期間にわたって、約14億ドルのコストが削減されることになる。

この契約は、4つの主要なプロジェクト分野を規定し、それぞれについて特定の成果スケジュールと奨励報酬を設定することで、責任を明確にしている。その4分野は次の通り。

イースト・テネシー・テクノロジー・パーク：旧ガス拡散プラント・サイトの浄化を、2008年9月30日までに完了する。

廃棄物処置：残されたすべての低レベル廃棄物(LLW)と

混合LLWを、2005年9月30日までに処理・処分する。

メルトンバレー：「メルトンバレーの決定の記録」に記されたすべての浄化作業を、2006年9月30日までに完了する。

計画のバランス：敷地外のアトミック・シティー・オート・パーツ社とデイビッド・ウィザースプーン社のサイトを含む残りのすべての浄化プロジェクトを、2008年9月30日までに完了する。

請負業者は、目標報酬を1億4,900万ドルとし、4,100万ドルの最低額から2億4,900万ドルの最高額の範囲で成功報酬を得ることができる。

またオークリッジでは、オークリッジ国立研究所のメルトンバレー地域にある約800本の監視井を施栓・放棄するために、ベクテル・ジェイコブズ社が220万ドルの下請業務をミラー・ドリリング社に委託した。施栓・放棄プロセスには、すべてのサンプリング装置、ポンプ、ホース、および配管の除去、井戸ケーシングの打ち抜きまたは除去、および州の規則で要求される井戸のセメント充填が含まれる。このプロセスで発生するすべての廃棄物は、下請業者が梱包して適切に処分する。このプロジェクトは、約9カ月を要する見込みである。

パデューカ

米エネルギー省(DOE)は、ケンタッキー州パデューカにあるパデューカ・ガス拡散プラントの浄化を加速することについて、同州と協定を結ぶ仮同意書

ビジネス情報

に署名した。両者は、仮同意書に記されたように、同プラントの浄化作業を2019年までに完了させることとし、この期日を早めるための戦略的構想を定めた。また両者は、仮同意書の実施について、米環境保護庁の同意と協力を求めることで合意した。パデューカにおける浄化加速のための具体的な構想には、以下が含まれる。

プラントにおける、所外汚染に寄与する地下水ソースタームの除去。

サイトに存在する非活動施設の除染とデコミッションング。サイト内埋設地における調査と必要な緩和措置。

ガス拡散プラントにおける汚

染土壌の特性調査と除去。

今回の仮同意書は、浄化を加速させること、すなわち国立研究所、核兵器製造サイト、および研究・試験施設における最大健康・環境リスクを低減することを目的とする、DOEの環境浄化改革構想の下で作成された。

使用済み燃料貯蔵

トランスニュークリア社は、ロビンソン、ブランズウィック、およびクリスタルリバー各原子力発電所における使用済み燃料貯蔵のための新世代乾式貯蔵システム NUHOMS の提供について、プログレス・エナジー社が

ら原子炉群規模の契約を獲得したと発表した。トランスニュークリア社は、合意条項に基づき、新たに設計した使用済み燃料貯蔵キャニスター NUHOMS-24PTH と高熱負荷貯蔵モジュール HSM-H を、2004年からロビンソン発電所に提供し始める。また同社は、燃焼度と熱負荷能力を高めた改良版の NUHOMS-61BT を、2007年からブランズウィック発電所に提供し始める。プログレス・エナジー社の原子炉群が加わることで、トランスニュークリア社の乾式貯蔵システムは、原子炉32基の用に供される20カ所の独立の使用済み燃料貯蔵施設で使われることになる。